すずらん通信

Vol.55
令和６年
２月１３日
発行

新年のご挨拶

・理事長より

新年明けましておめでとうございます。今年もスタッフ共々、よろしくお願いします。

新年早々、相模原市教の教育長が視察に来られました。とても気さくな方で、なんと中村と同じ歳…。これからの教育現場での課題や望む事をお伝えしました。当日は元気な子が４名おり、わいわいがやがやと騒いでいましたが、ホワイトボードに描いてあった絵を見て、すごいですね、と。子どもたちの才能を感じて頂けたかな…。　（中村　鳴美）

・副理事長より

少し遅くなってしまいましたが、今年も宜しくお願い致します。

前年の通信挨拶では「次のステージへ向けて」と題して文を寄稿しました。その中で「今の自分にいったい何が出来るのか？」と自身を時に戒めながら、日々、鈴蘭学園で活動していることを書きました。これについては今も変わりません。限られた時間の中で子どもたち、保護者の方と何が出来るのか。自分が培ってきたものを少しでも皆さんにお役に活かせたら良いなといつも考えております。

昨年、フリースクールのリフォームが行われ、快適な環境になり、リリーベルも利用者が着実に増えており、１施設だけでは足りない状況になりつつあり、リリーベル２（？）を開設する日もそう遠くはないようです。とは言え、開設のための場所、人材の確保がまだ出来ていない状況です。

皆さんにもご協力いただくことがあるかと思います。今年もどうぞ宜しくお願い致します。　（桑原　和也）

クリスマス週間

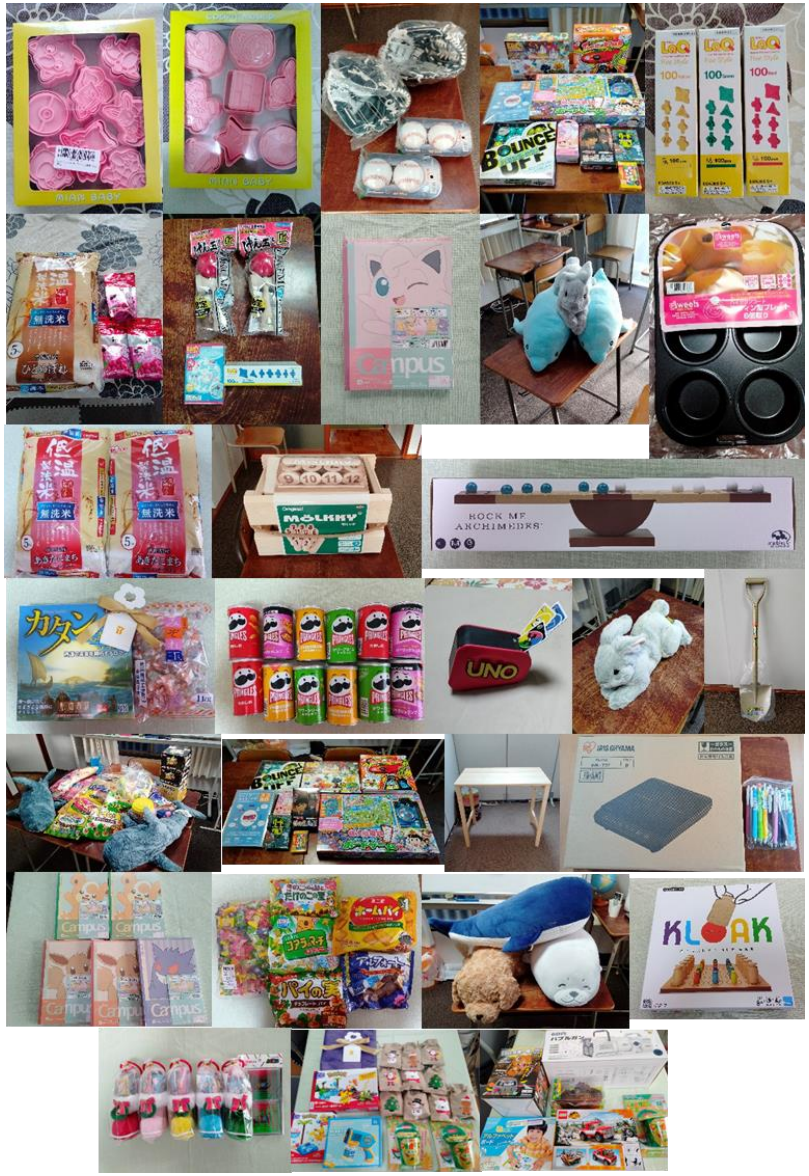
クリスマス前の一週間はお昼がマクドナルドになります。クリスマス週間として毎年恒例になっていますが、子どもたちに好きなメニューを注文してもらいました。普段昼食を鈴蘭で取らない子には持ち帰っておうちで食べてもらいます。多少の好き嫌いはありますが、注文を拒む子はいません。みんなマクドナルドが好きなんですね。曜日により登園する子どもが異なり、過ごし方にも個性があるため、みんなで集まってのクリスマスパーティーよりもこのような形式で各々クリスマスを感じてもらう方がストレスが少ないと感じています。

今年はさらにお菓子のプレゼントもありました。鈴蘭学園にお菓子などをプレゼントして下さった方がおり、そのご厚意に甘えて頂いたお菓子を子どもたちに配りました。子どもたちも喜んでいました。ありがとうございました。

（菅原　雅史）

みんなで応援プログラムお礼

Amazon みんなで応援プログラムを通じて昨年一年間に皆様からご寄付いただいた物品をご紹介いたします。（画像は順不同）



子どもたちのため、多くのご寄付を頂けたことに感謝いたします。一部プログラム外の物品までご寄付いただいた方もいらっしゃいました。すべて子どもたちの支援に活用いたしております。本年も同プログラムに参加しておりますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。　　（菅原　雅史）

リリーベル活動報告

新年あけましておめでとうございます。昨年はお世話になりました。新しい年が皆さまにとって幸多きものとなりますようにお祈り申し上げます。今年も放課後等デイサービスリリーベルをよろしくお願いいたします。

さて、２０２３年１２月、２０２４年１月の特徴的なリリーベルの活動では、１２月にはクリスマス会を兼ねたビンゴ大会や、wii のゲーム機を用いたゲーム交流会や DVD の視聴会など年末ならではの特別な催しもしました。年明けの１月では書初めや正月遊びとして福笑いや相模原レクリーエーションパークで凧揚げ、高尾山登山などをしました。そのなかでも今回は、高尾山登山の活動を報告したいと思います。

リリーベルでは、１月２６日の金曜日に東京都八王子市にある高尾山の頂上まで登ってきました。本来は秋の紅葉のシーズンに行く構想もありましたが、混雑が目立って一度は断念することになりました。今回の高尾山はそこまでの混雑もなく、雲一つない晴天に見舞われ、山登り日和でした。

高尾山の登山当日は普段より３０分早い９時３０分にリリーベルに集合して、車で移動しました。高尾山のふもとに到着した後は、ケーブルカーを利用して高尾山駅まで行きました。高尾山のケーブルカーは日本で一番の傾斜がある電鉄であると車内放送でのお知らせがあり、お知らせ通り立っていてもかなりの傾斜を感じました。高尾山駅に到着した後は、１号路という舗装されている比較的緩やかな道で頂上を目指しました。途中、階段か坂道の選択をすることになりましたが、子どもたちが階段を選択したため、８８段の階段で登ることにしました。説明では８８段と書いてありましたが、もっと段数があったと思います（笑）。階段はきつく感じる子どももおり、適宜休憩をとりながら登っていきました。

山登りの途中の景色

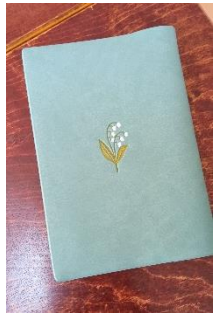
１２時ごろに高尾山の頂上に無事到着することが出来ました。高尾山の頂上から見る富士山はとてもきれいに見えました。また、頂上で食べる昼食について子どもたちから「美味しい」という言葉も聞けて、とても気持ちよさそうでした。頂上では昼食と休憩をとって下山しました。下山は登山よりもスムーズに進み、子どもたちの体力も足りていた様子でした。途中おみくじを引いたりお土産を買ったりして、楽しみながら岐路に着きました。さすがに帰りの車で寝る子どももおり、疲れた様子を見せる子どももいました。今回の高尾山の活動では、スタッフ子ども全員怪我することなく、自然豊かな道でコミュニケーションをとりながら登山する貴重な経験になったと思います。

高尾山頂上から見た富士山

今年もリリーベルでは子どもたちに寄り添い過ごしやすい空間と『やすらぎ』の場であることを願って、職員一同頑張ってまいります。　　（貞清　裕介）

中村のちょっと素敵な話

最近では、何名か読書をしている女子がいます。その中ですずらんの花のブックカバーをかけている子がいました。とても素敵だったので、中村はすぐさまお願いして写真を撮らせてもらいました。やっぱりブックカバーでも、すずらんの花は可憐ですね。その子も笑顔で、私も笑顔になりました。



お悩みの方、ご相談ください。

自信・活力・自分らしさを取り戻すため、あなたと共に問題に向き合います。
まずは、ご相談ください。

相談専用ダイヤル　ＴＥＬ：０４２－７３３－００１５

電話相談事業は、神奈川県フリースペース等補助金により運営しています。